

不登校に関するアンケート調査

調査結果

令和 6 年 3 月
島根県教育委員会

調査の概要

■調査目的

以前不登校であったが、現在学校に通っている子どもたちに、当時の状況や学校に求めている対応などをアンケート調査し、今後の不登校支援につなげる。

■調査対象者

島根県立宍道高等学校（定時制）279 人
（通信制）1,347 人

島根県立浜田高等学校（定時制）71 人
（通信制）247 人

全 1,944 人

■調査方法

Web 調査（グーグルフォーム）によりアンケートを実施

■調査回答者数

有効回答数（人）：309

回答率：15.9%

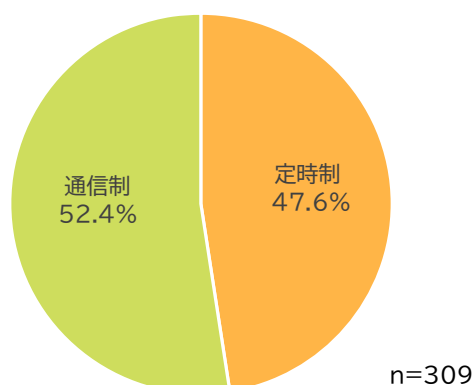
■調査期間

令和6年3月4日～3月15日

アンケート調査においては、自由記述欄があるが、回答者の特定につながるおそれがあるため、本書においては掲載していない。

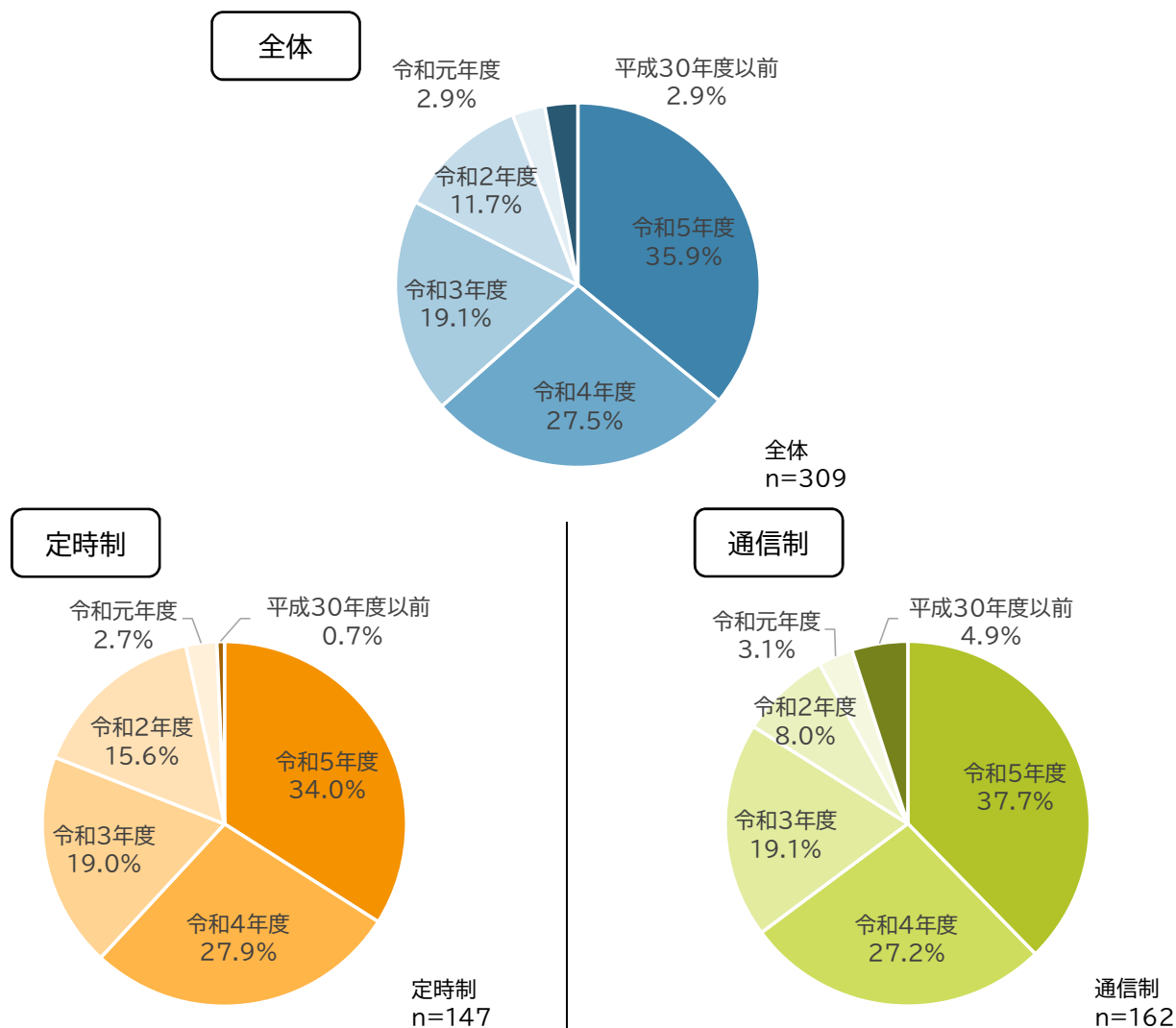
問1 あなたは定時制の生徒ですか、通信制の生徒ですか。

□定時制が47.6%、通信制が52.4%であった。



問2 入学年度を選んでください。

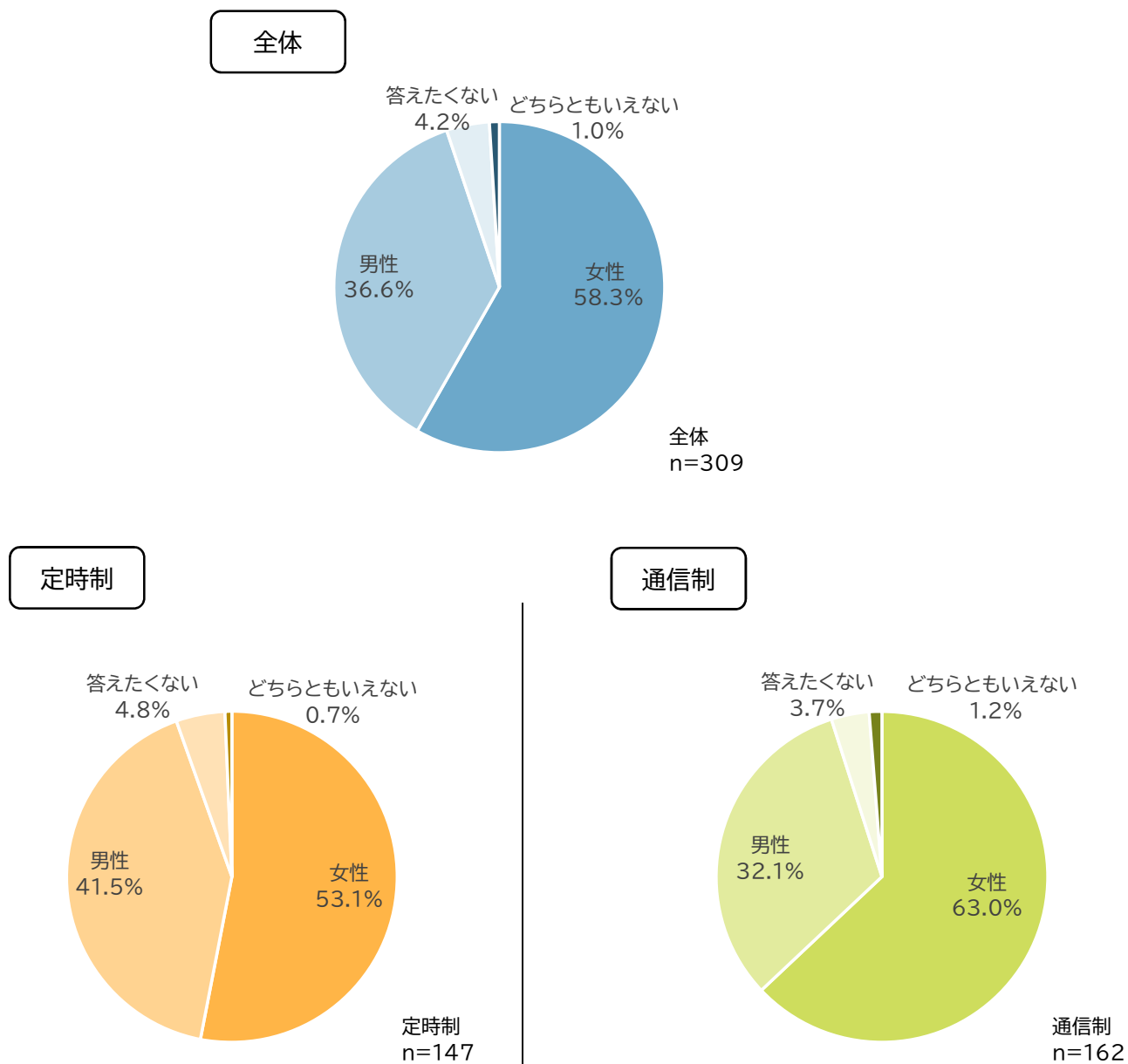
□入学年度について、「令和5年度」が最も多く、次いで「令和4年度」「令和3年度」であった。
定時制、通信制に大きな違いはみられなかった。



問3 性別を選んでください。

□性別は、「女性」の方が多く6割前後、「男性」が4割前後であった。

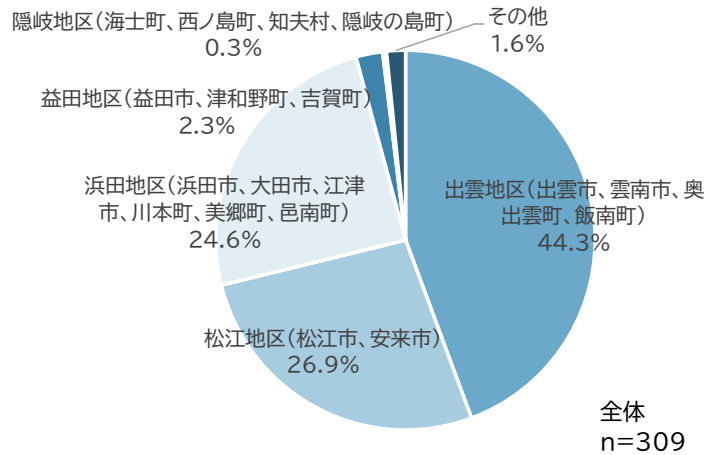
定時制は「女性」が53.1%に比べ通信制は63.0%と1割程度多かった。



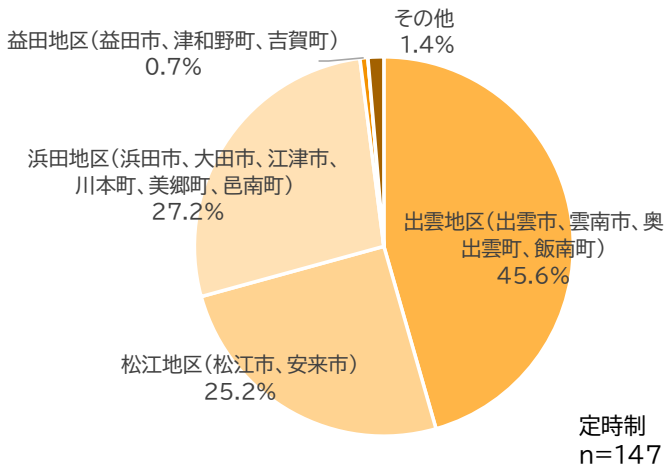
問4 現在、住んでいる地域を選んでください。

□住んでいる地域は、「出雲地区(出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町)」が最も多く、次いで「松江地区(松江市、安来市)」であった。

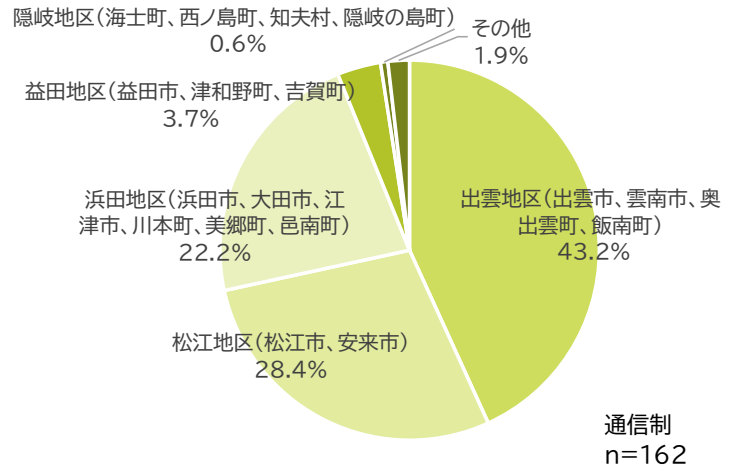
全体



定時制



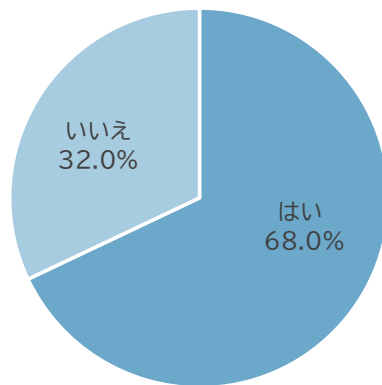
通信制



問5 小学校または中学校の時に不登校だったことがありますか。

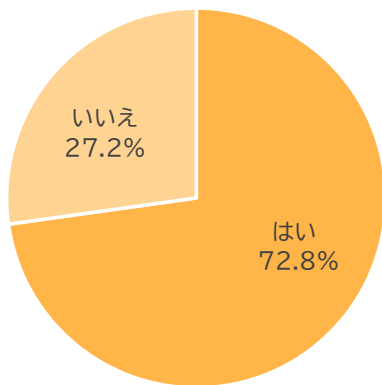
□小学校または中学校の時に不登校だったことがある人は約7割となっている。
定時制は通信制に比べて1割程度不登校だったことがある人の割合が高かった。

全体



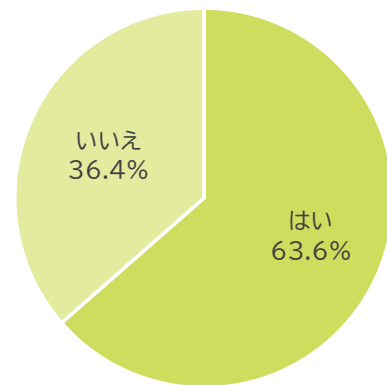
全体
n=309

定時制



定時制
n=147

通信制



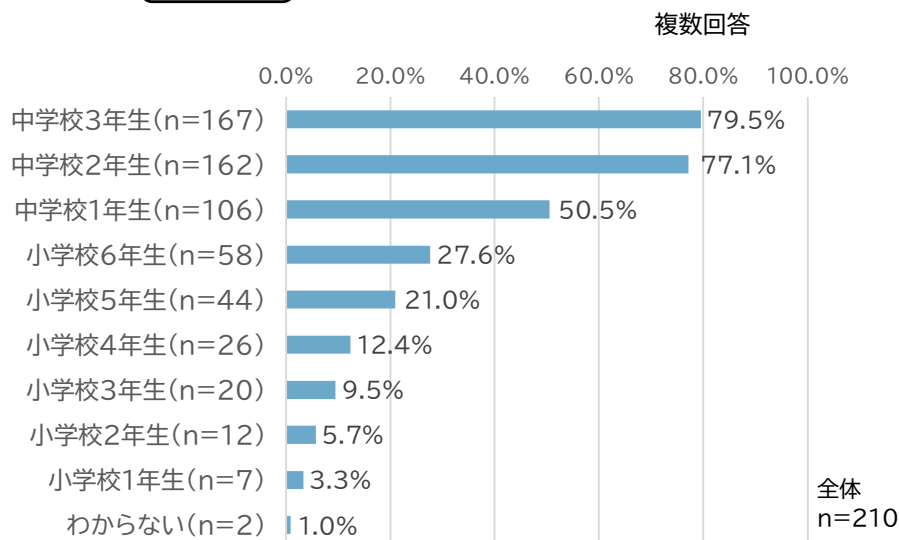
通信制
n=162

以下、問いで「はい」と回答した方(n=210)

問6 不登校であった時期はいつ頃ですか。(複数回答可)

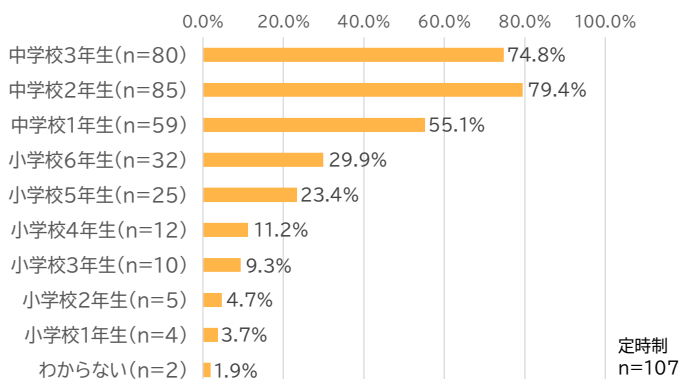
□不登校だった時期は「中学校 2 年生」及び「中学校 3 年生」が最も多く、学年が上がるにつれ不登校だった割合が高くなっている。

全体



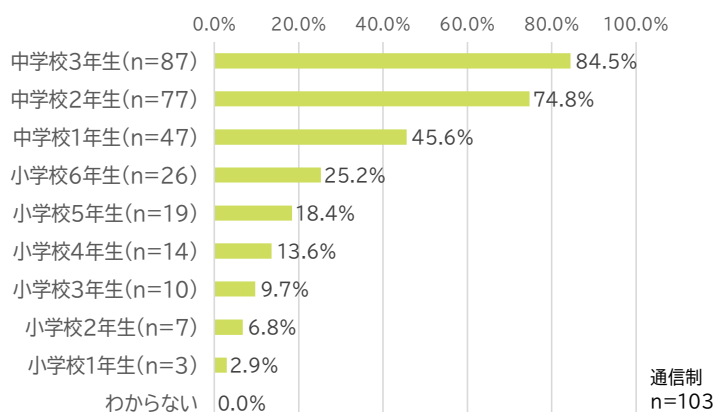
定時制

複数回答



通信制

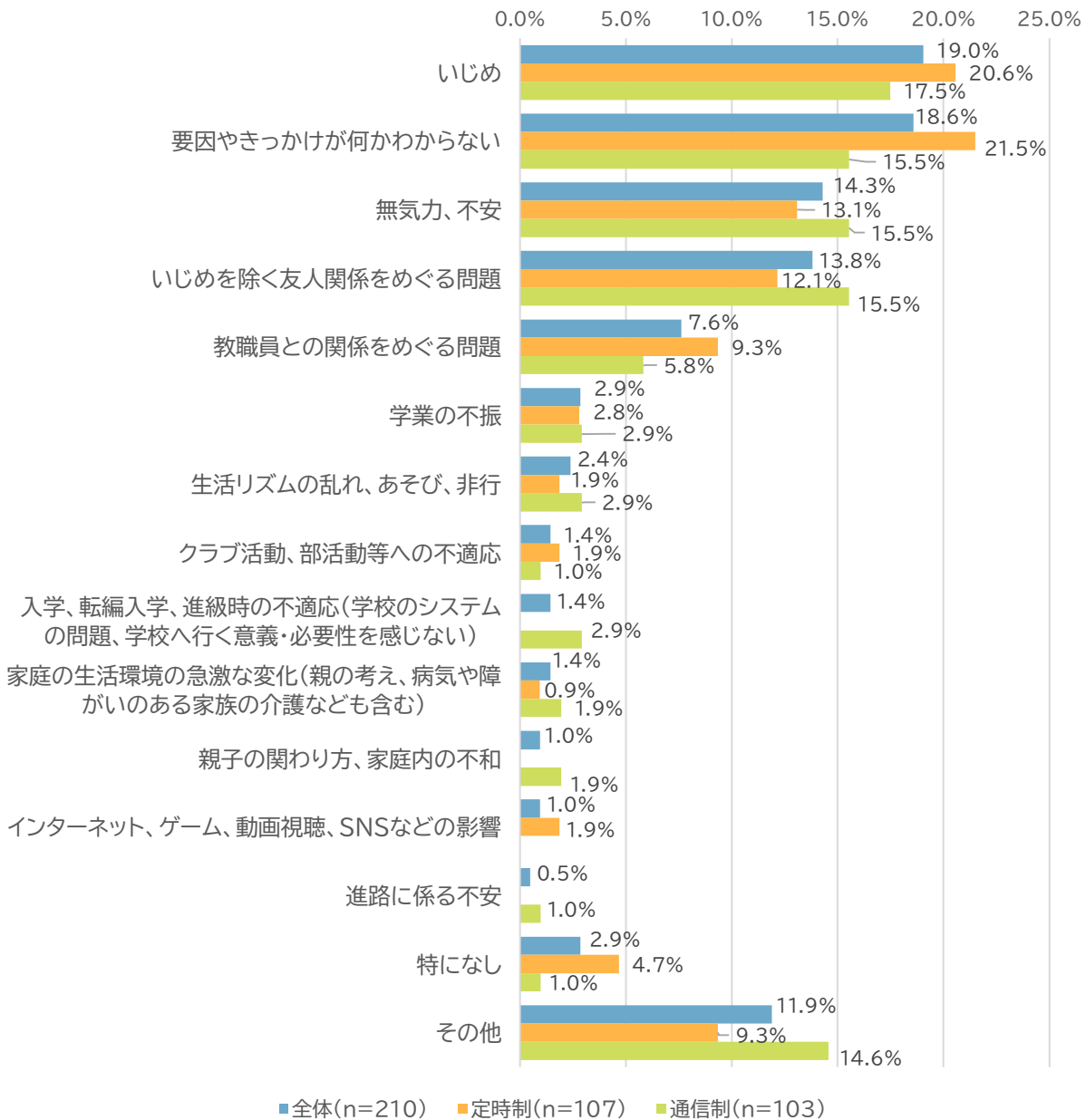
複数回答



問7 学校へ行けなくなった要因・きっかけは何ですか。(主なものを1つ選んでください)

□学校へ行けなくなった要因・きっかけについては、「いじめ」が最も多く、次いで「要因やきっかけが何かわからない」であった。

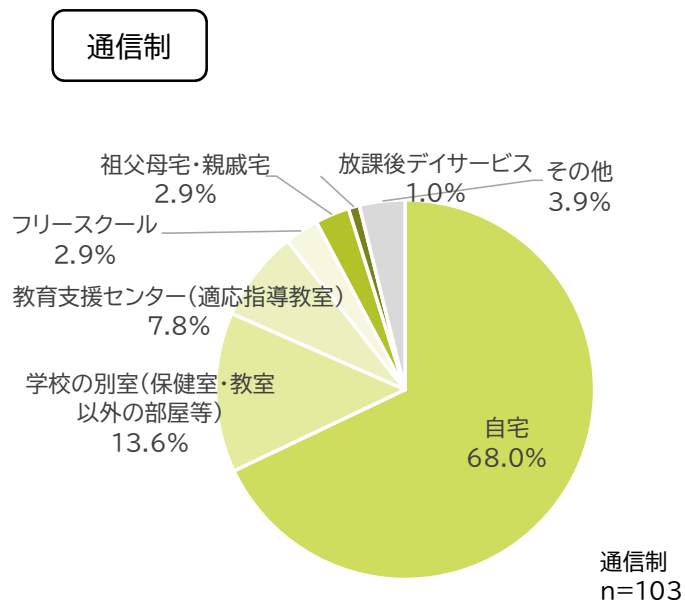
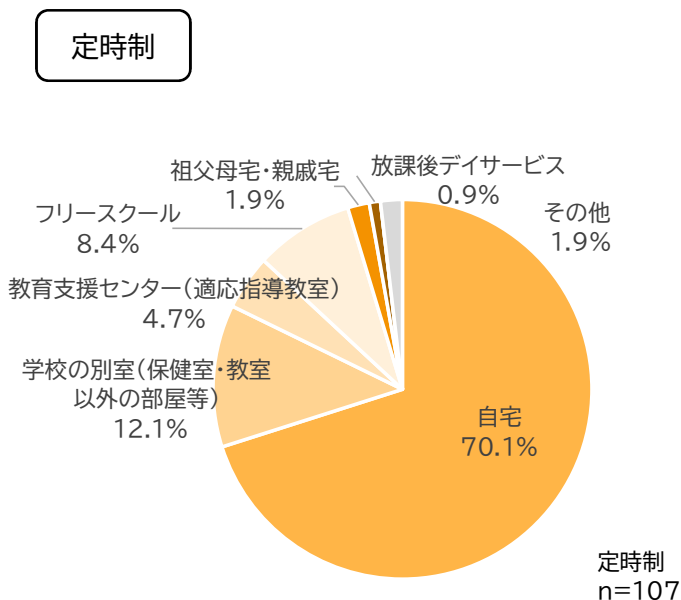
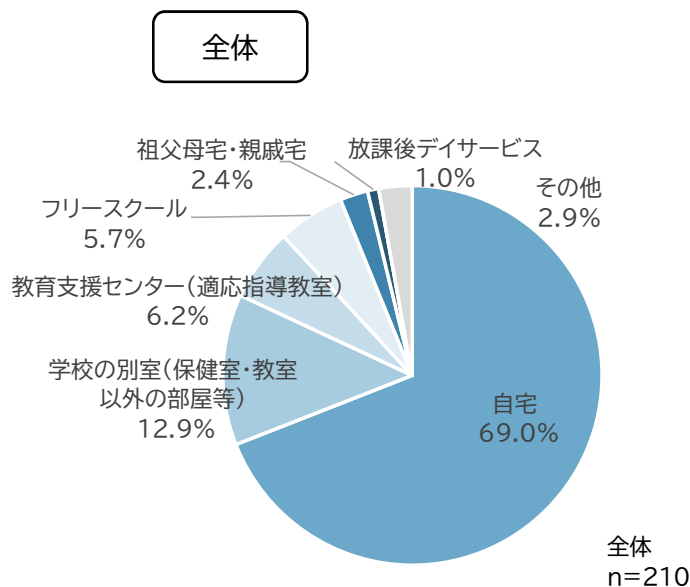
定時制では、「要因やきっかけが何かわからない」が最も多く、通信制では、「いじめ」の次に「要因やきっかけが何かわからない」に加え、「無気力、不安」「いじめを除く友人関係をめぐる問題」の回答が多くみられた。



問8 学校へ通えていないときに、主に過ごしていた場所はどこでしたか。(普段授業が行われている時間帯)

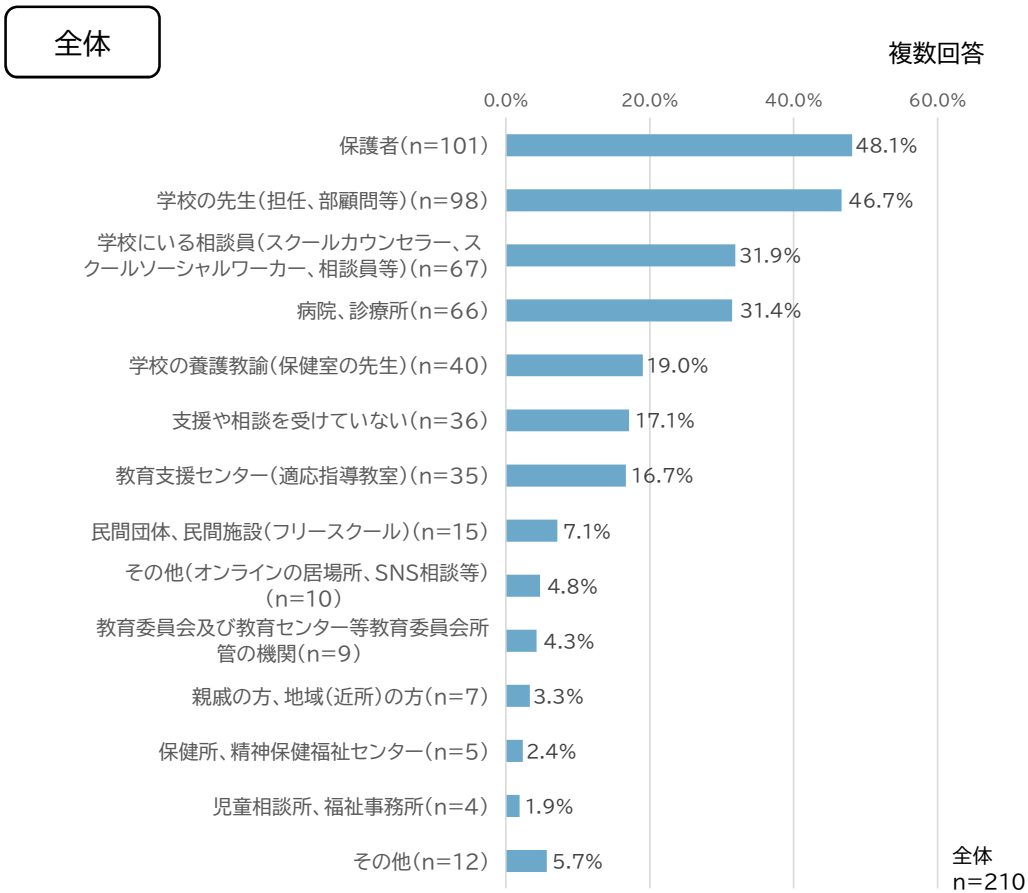
□学校へ通えていないときに、主に過ごしていた場所については、「自宅」が最も多く、次いで「学校の別室(保健室・教室以外の部屋)」であった。

また、「自宅」、「学校の別室(保健室・教室以外の部屋等)」に次いで、定時制は「フリースクール」の一方で通信制は「教育支援センター(適応指導教室)」であった。



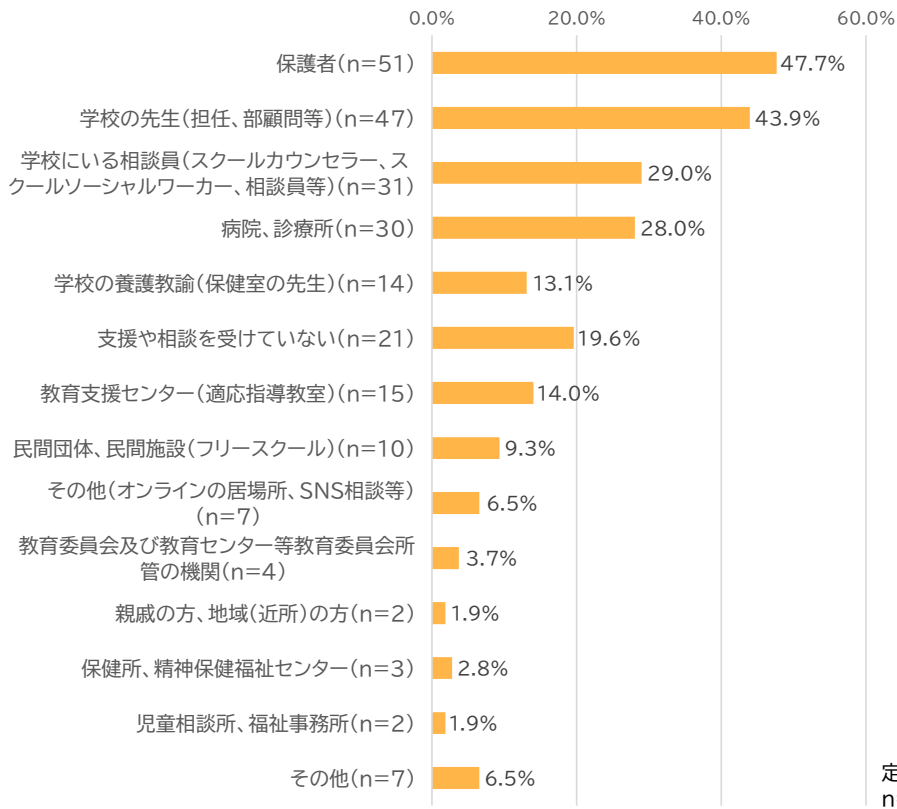
問9 不登校となった際に、支援を求めたり相談したりしたところはどこですか。(複数回答可)

□不登校となった際に、支援を求めたり相談したりしたところについては、「保護者」が最も多く、次いで「学校の先生(担任、部顧問等)」であった。
 定時制、通信制に大きな違いはみられなかった。



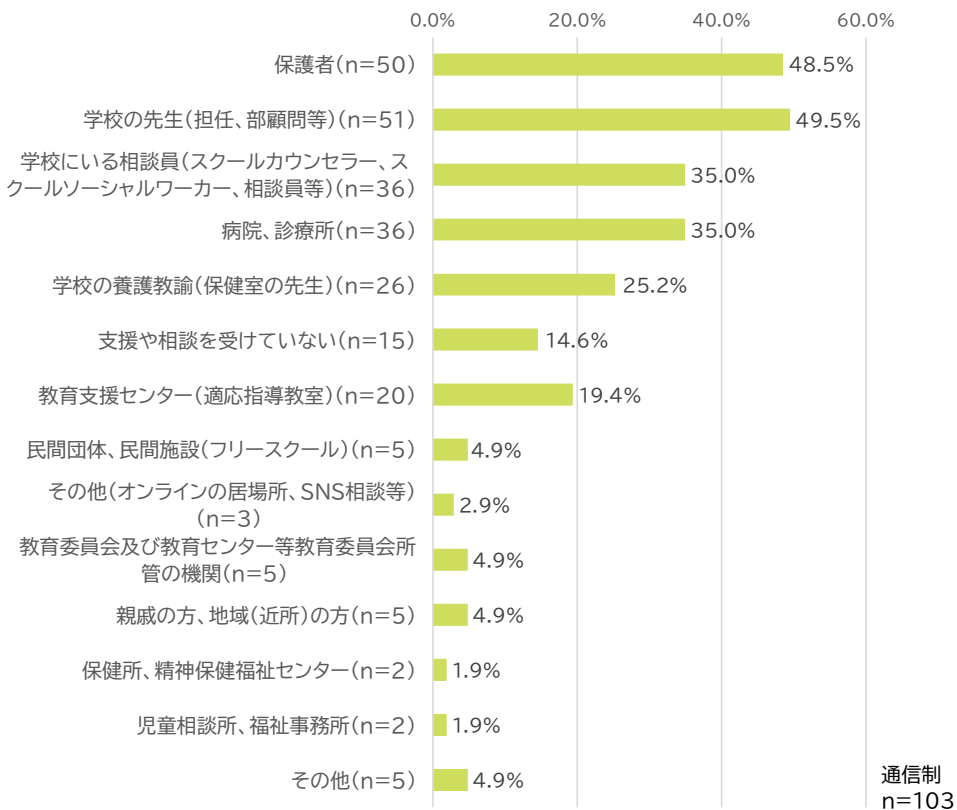
定時制

複数回答



通信制

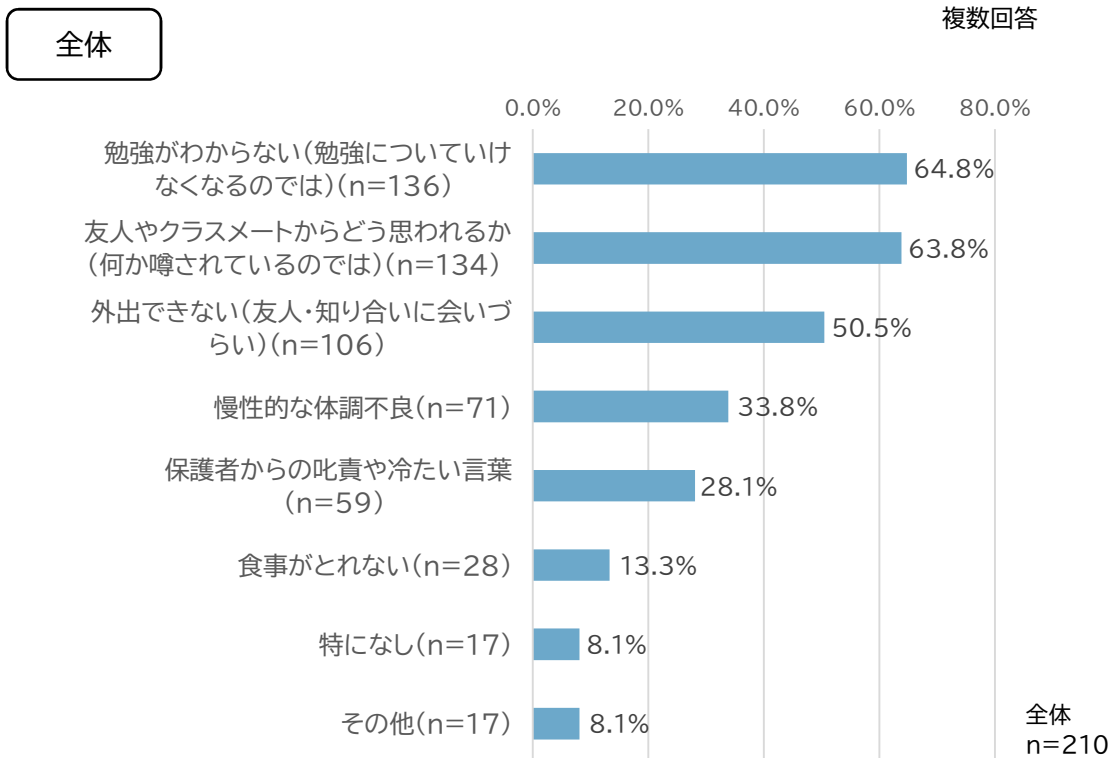
複数回答



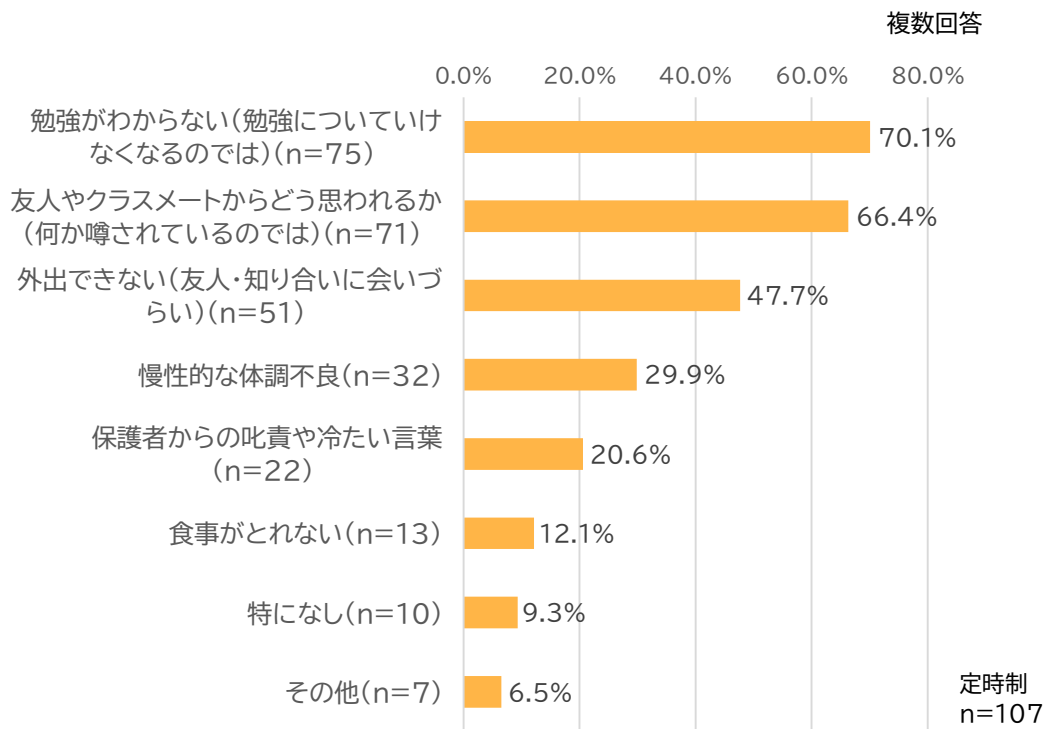
問10 不登校の時に、不安に思ったり困ったりしていたこと、辛かったことは何ですか。(複数回答可)

□不登校の時に、不安に思ったり困ったりしていたこと、辛かったことについては、「勉強がわからない(勉強についていけないのでは)」が最も多く、次いで「友人やクラスメートからどう思われるか(何か噂されているのでは)」であった。

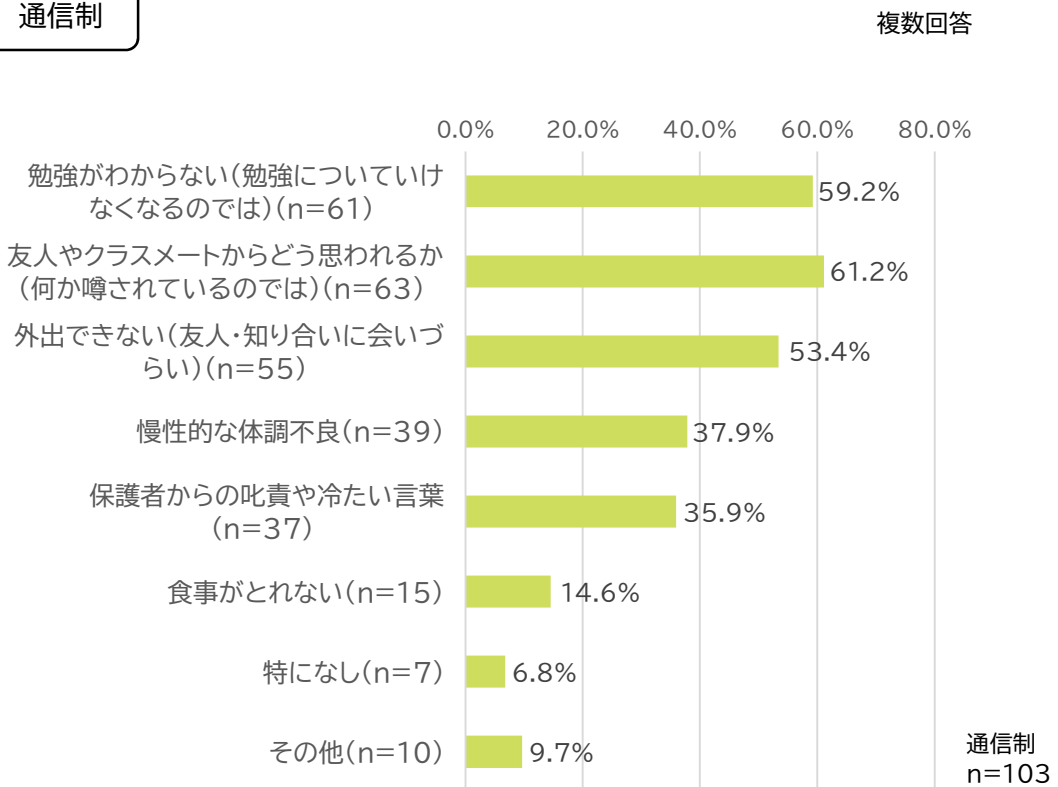
定時制、通信制に大きな違いはみられなかったが、学校の様子や友人に関することに対して不安に思う回答が多くみられた。



定時制



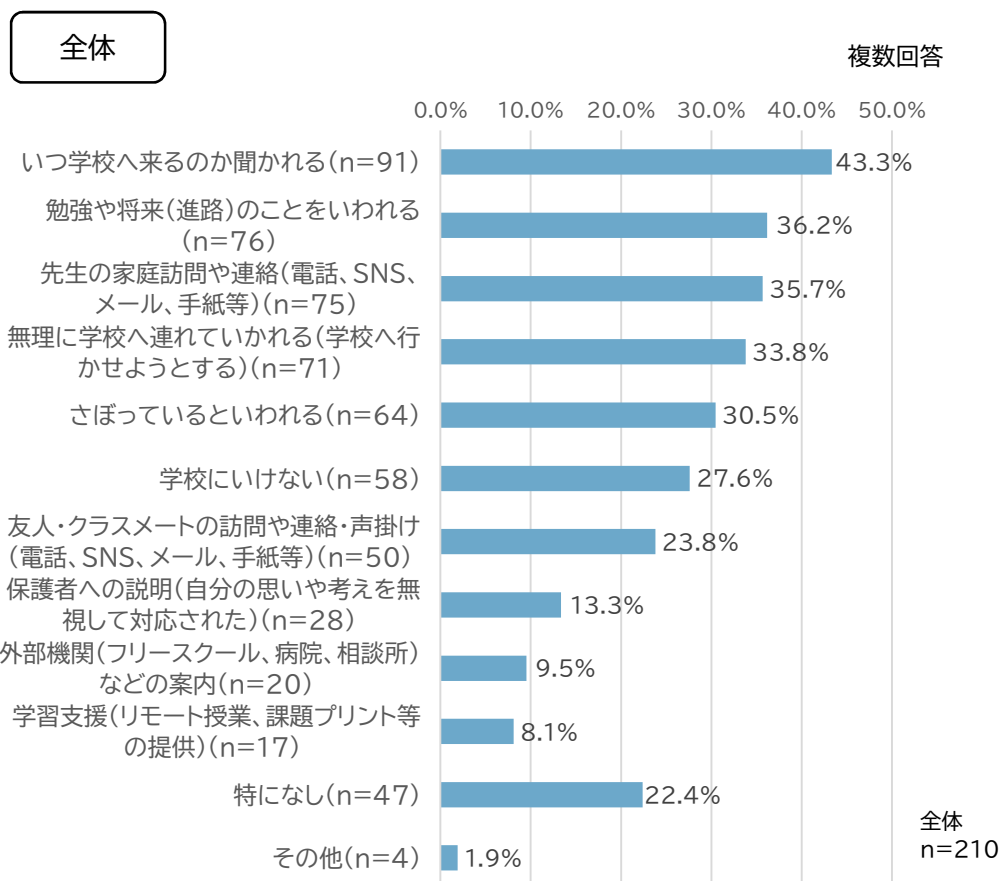
通信制



問11 不登校で不安に思ったり、困ったりした時に、学校や先生からの支援・配慮で嫌だったことなどが
ありましたか。(複数回答可)

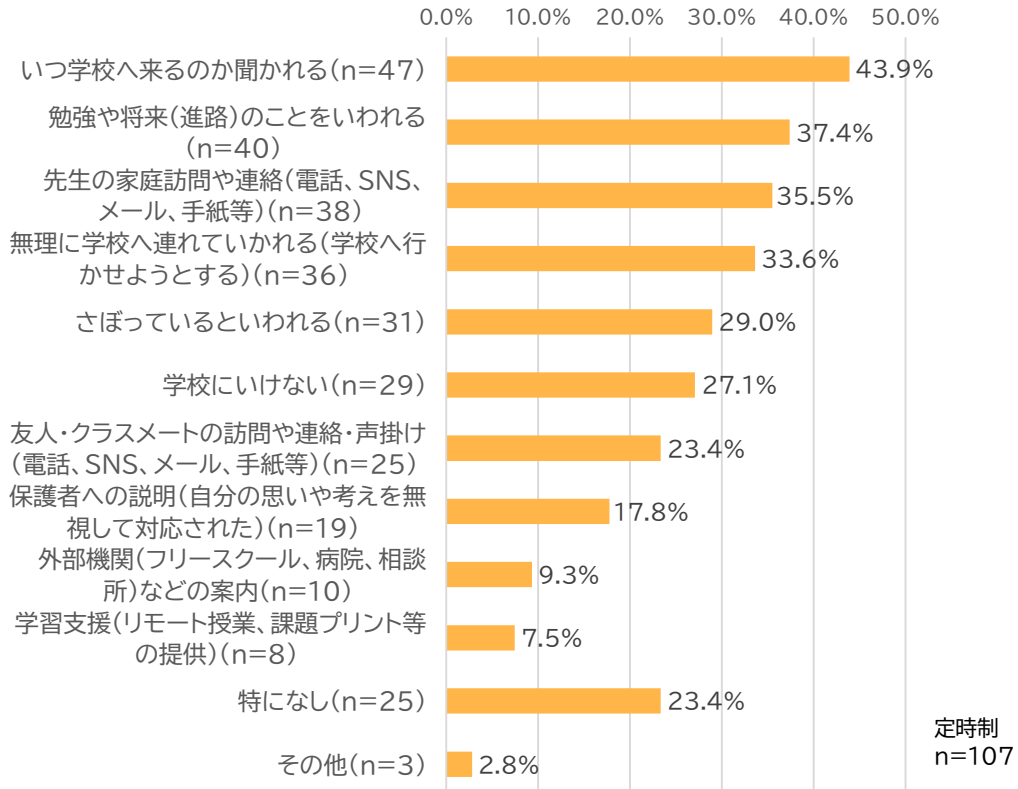
□学校や先生からの支援・配慮で嫌だったことについて、「いつ学校に来るのか聞かれる」が最も多く、
次いで「勉強や将来(進路)のことをいわれる」、「先生の家庭訪問や連絡(電話、SNS、メール、手紙
等)」であった。

定時制、通信制に大きな違いはみられなかったが、学校へ行くことを促すような対応について、嫌だっ
たと感じる回答が多くみられた。



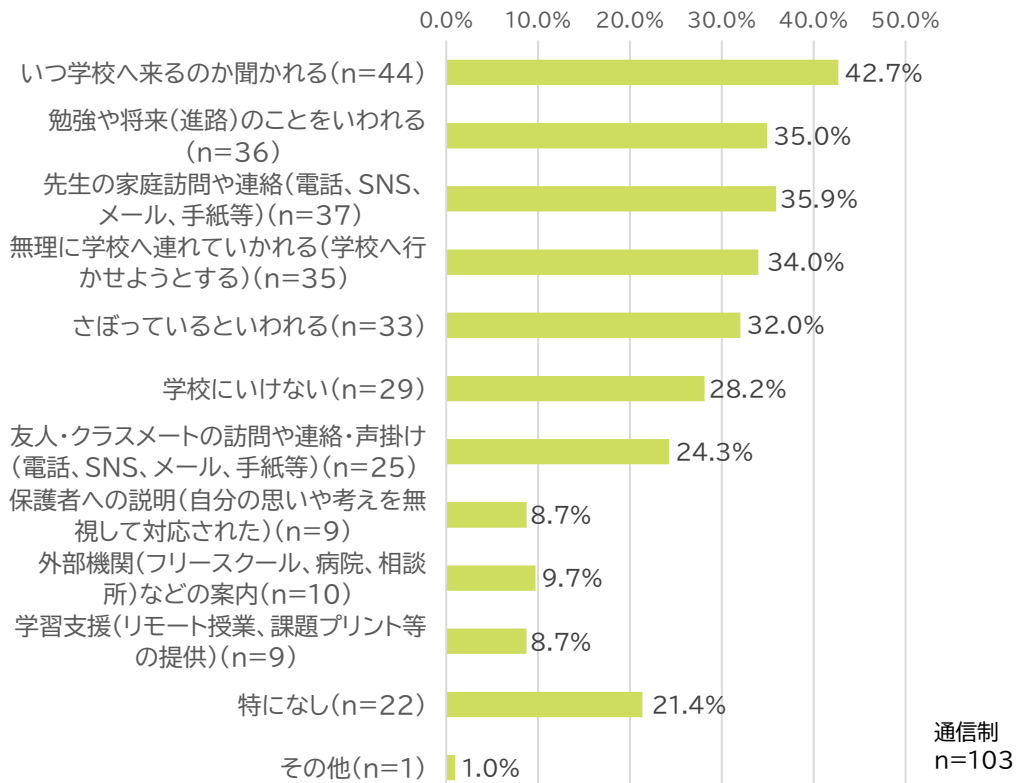
定時制

複数回答



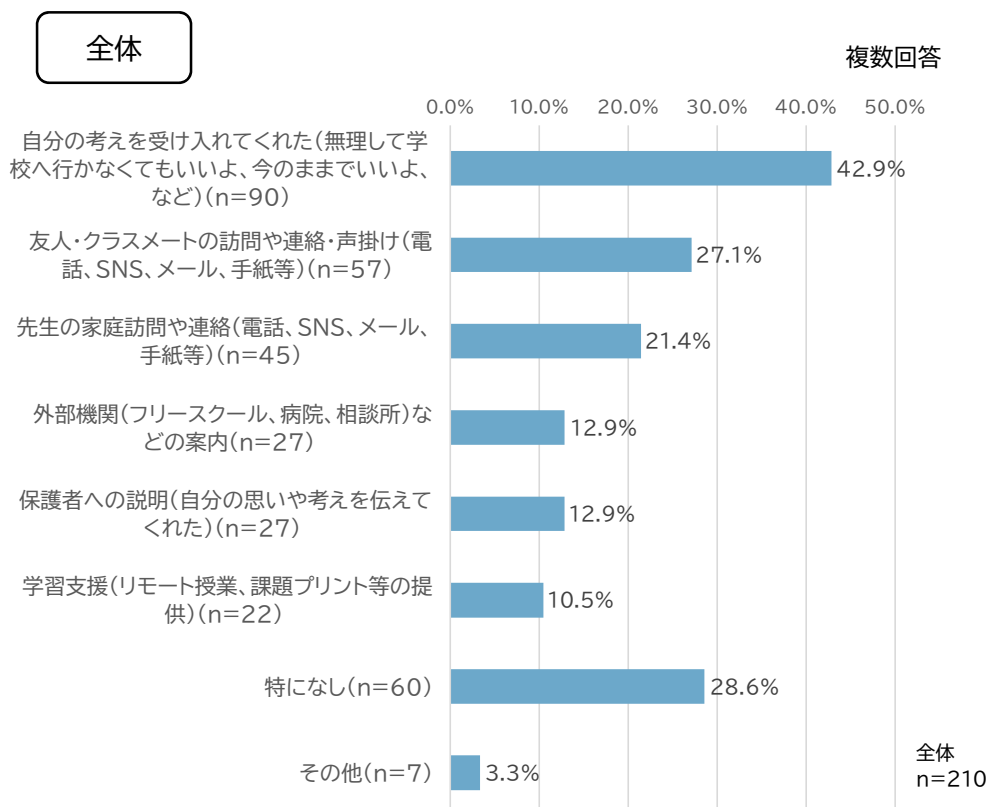
通信制

複数回答



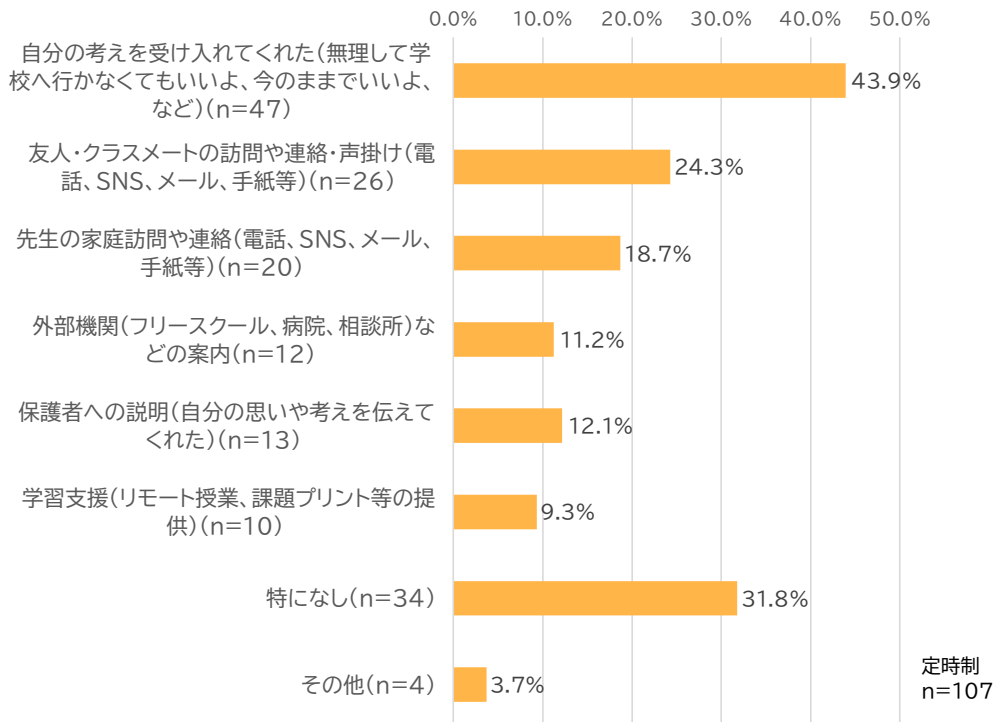
問12 不登校で不安に思ったり、困ったりした時に、学校や先生からの支援・配慮で嬉しかったことや助けられたことなどはありましたか。(複数回答可)

□学校や先生からの支援・配慮で嬉しかったことや助けられたことについて、「自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など)」が最も多く、次いで「友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け(電話、SNS、メール、手紙等)」であった。
定時制、通信制に大きな違いはみられなかった。



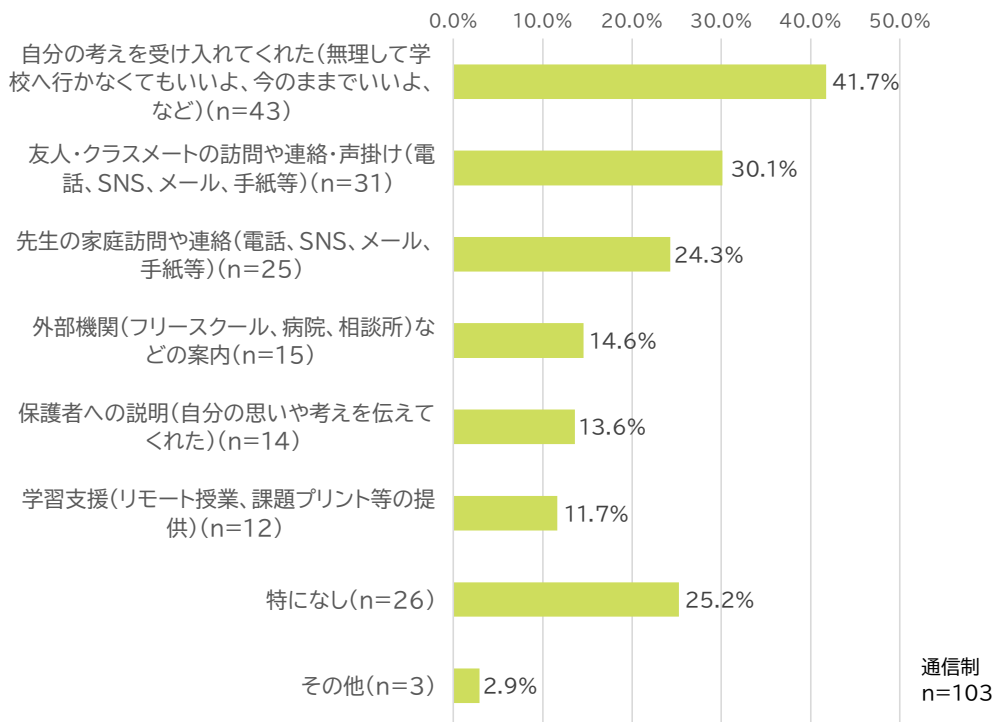
定時制

複数回答



通信制

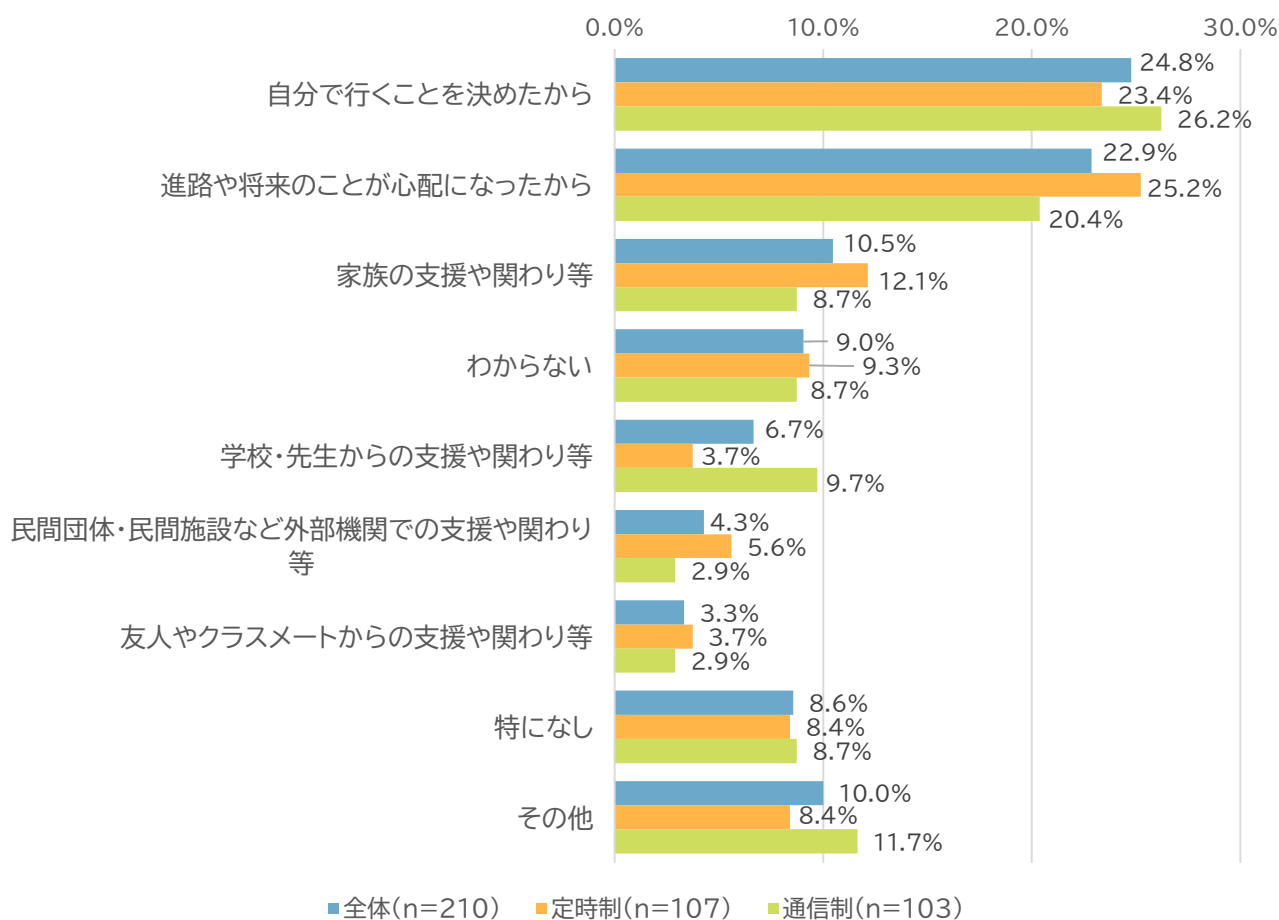
複数回答



問13 学校へ行くことになったきっかけは何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

□学校へ行くことになったきっかけについて、「自分で行くことを決めたから」が最も多く、次いで「進路や将来のことが心配になったから」、「家族の支援や関わり方」であった。

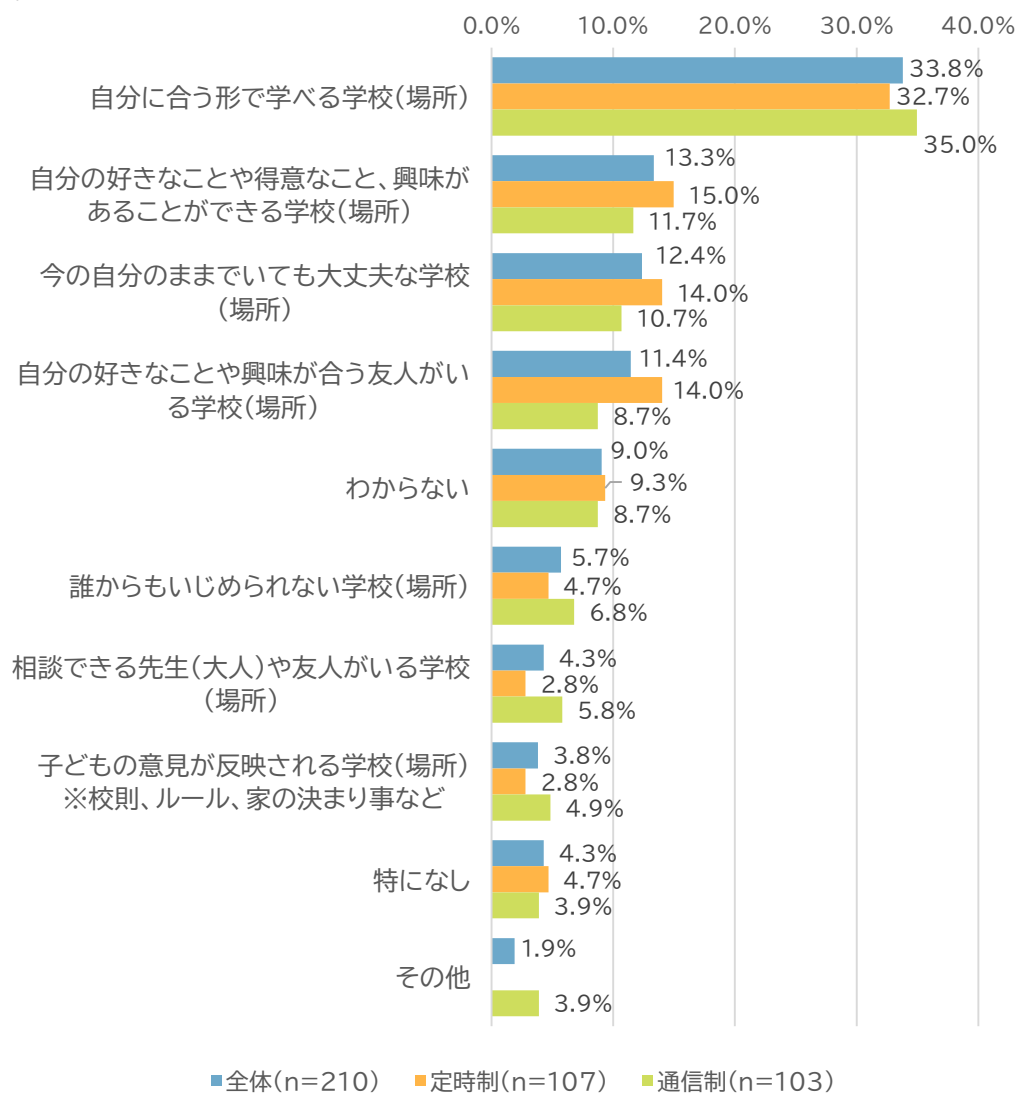
定時制は「進路や将来のことが心配になったから」が最も多い回答であったのに対し、通信制では「自分で行くことを決めたから」であった。



問14 当時、あなたが思った「学びたいと思える場所」「理想の学校」等にあてはまるものを1つ選んでください。

□「学びたいと思える場所」「理想の学校」について、「自分に合う形で学べる学校(場所)」が最も多く、次いで「自分の好きなことや得意なこと、興味があることができる学校(場所)」「今のままでいても大丈夫な学校(場所)」であった。

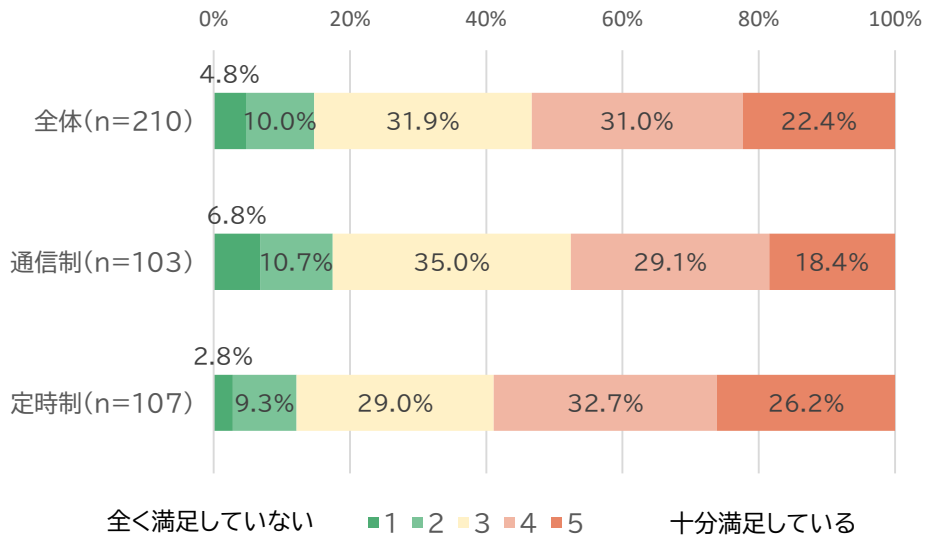
定時制、通信制に大きな違いはみられなかったが、自分に合う学校(場所)を求めている回答が多くみられた。



問15 今の生活の満足度は

□満足度について、「(十分)満足している(4点、5点)」は半数以上であるのに対し、「(全く)満足していない(1点、2点)」が一定数の回答がみられた。

また、定時制の方が通信制に比べて「(十分)満足している(4点、5点)」の割合が多くみられた。

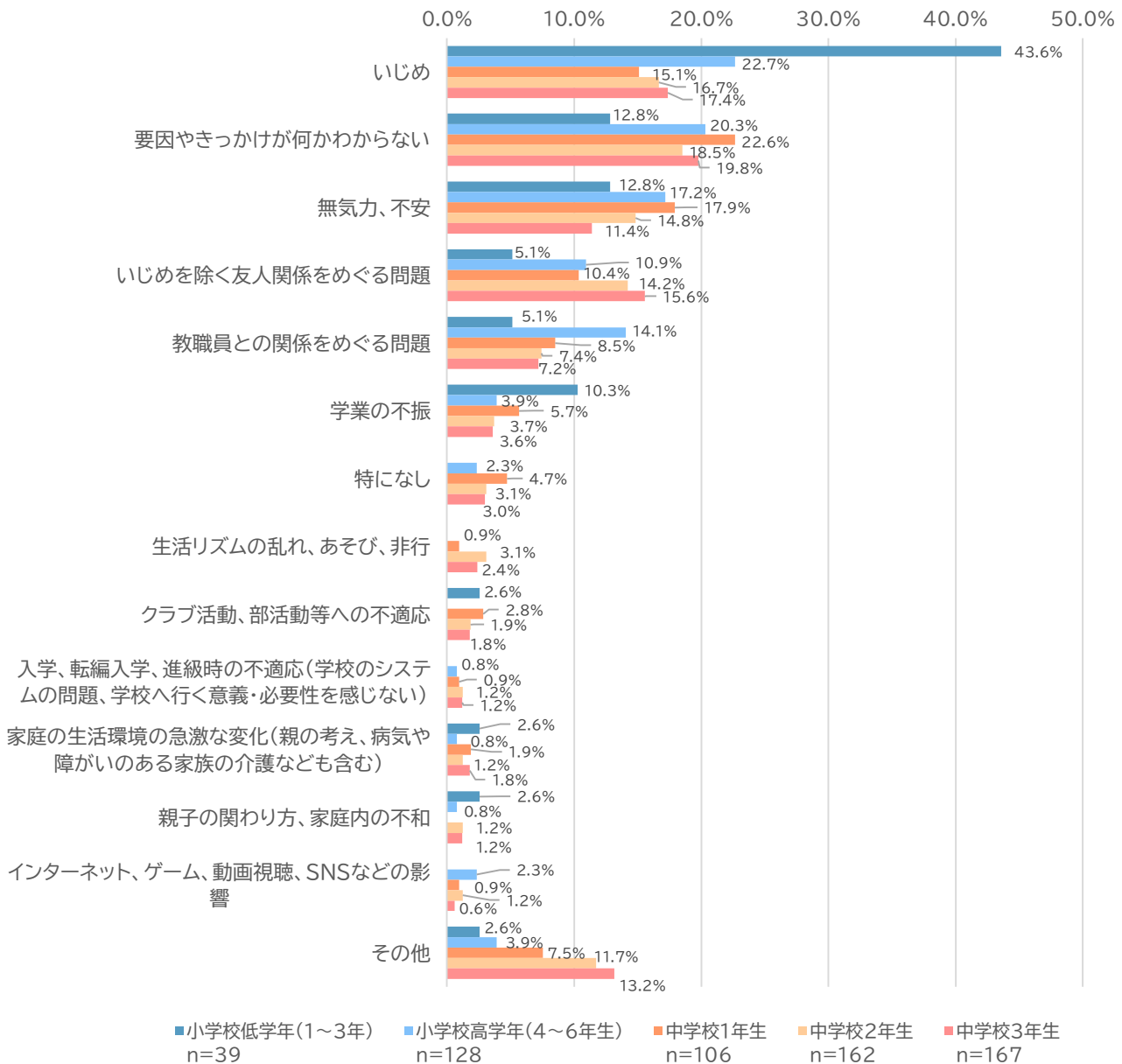


クロス集計1 不登校の時期×学校へ行けなくなった要因・きっかけ

□学校へ行けなくなった要因・きっかけについて、「いじめ」、「要因やきっかけが何かわからない」がどの学年でも上位に挙がっていた。

不登校時期による原因・きっかけについて、順位で大きな違いはみられなかったが、小学校低学年(1～3年)は「いじめ」の割合が高い傾向がみられた。

	1	2	3
小学校低学年 (1～3年)	いじめ (43.6%)	無気力、不安/要因やきっかけが何かわからない (12.8%)	
小学校高学年 (4～6年)	いじめ (22.7%)	要因やきっかけが何かわからない (20.3%)	無気力、不安 (17.2%)
中学校1年生	要因やきっかけが何かわからない (22.6%)	無気力、不安 (17.9%)	いじめ (15.1%)
中学校2年生	要因やきっかけが何かわからない (18.5%)	いじめ (16.7%)	無気力、不安 (14.8%)
中学校3年生	要因やきっかけが何かわからない (19.8%)	いじめ (17.4%)	いじめを除く友人関係をめぐり問題 (15.6%)

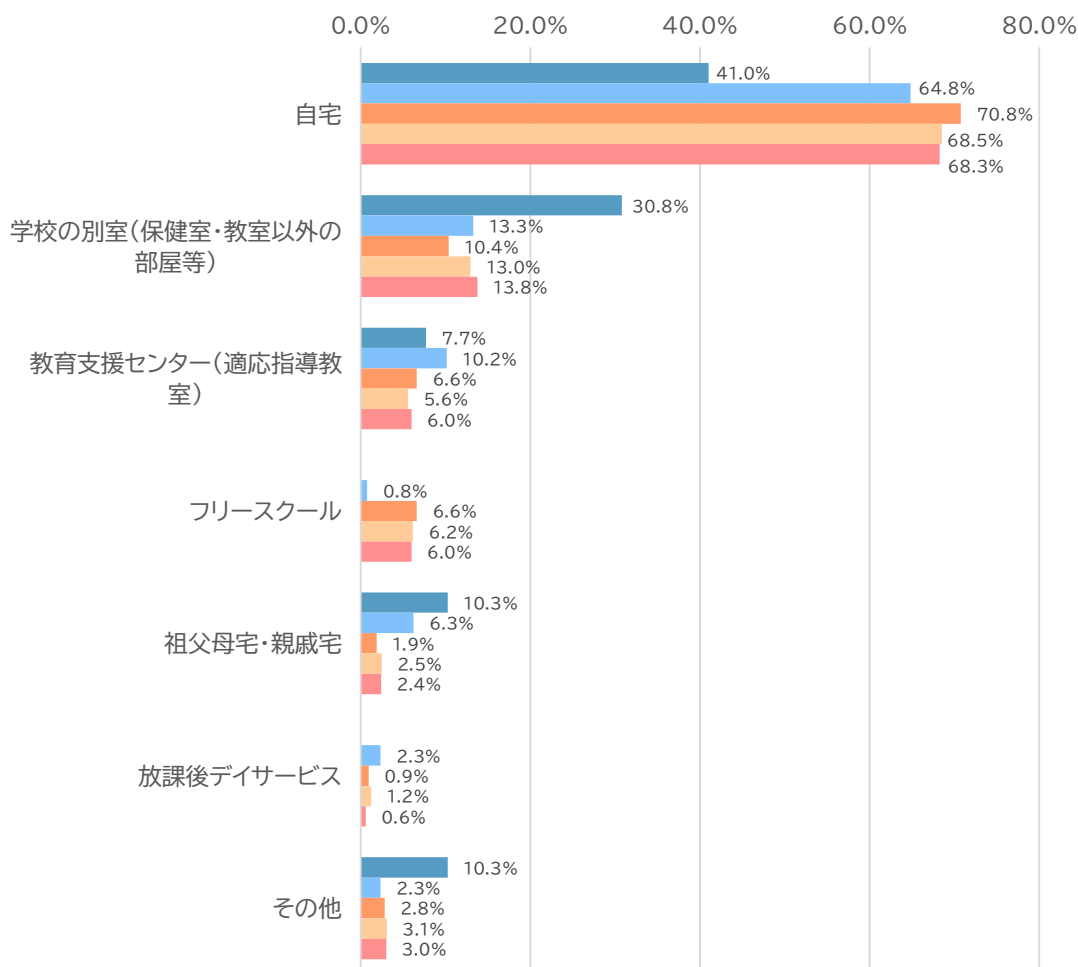


クロス集計2 不登校の時期×主に過ごしていた場所

□不登校の際に主に過ごしていた場所について、「自宅」、「学校の別室(保健室・教室以外の部屋等)」がどの学年でも1番目と2番目に挙がっていた。

3番目に小学校低学年(1～3年)は「祖父母宅・親戚宅」に対して、小学校高学年(4～6年)は「教育支援センター(適応指導教室)」、中学校(1～3年)は「教育支援センター(適応指導教室)」に加えて「フリースクール」と、住居以外の居場所の回答がみられた。

	1	2	3
小学校低学年(1～3年)	自宅 (41.0%)	学校の別室(保健室・教室以外の部屋等) (30.8%)	祖父母宅・親戚宅 (10.3%)
小学校高学年(4～6年)	自宅 (64.8%)	学校の別室(保健室・教室以外の部屋等) (13.3%)	教育支援センター(適応指導教室) (10.2%)
中学校1年生	自宅 (70.8%)	学校の別室(保健室・教室以外の部屋等) (10.4%)	教育支援センター(適応指導教室) /フリースクール (6.6%)
中学校2年生	自宅 (68.5%)	学校の別室(保健室・教室以外の部屋等) (13.0%)	フリースクール (6.2%)
中学校3年生	自宅 (68.3%)	学校の別室(保健室・教室以外の部屋等) (13.8%)	教育支援センター(適応指導教室) /フリースクール (6.0%)

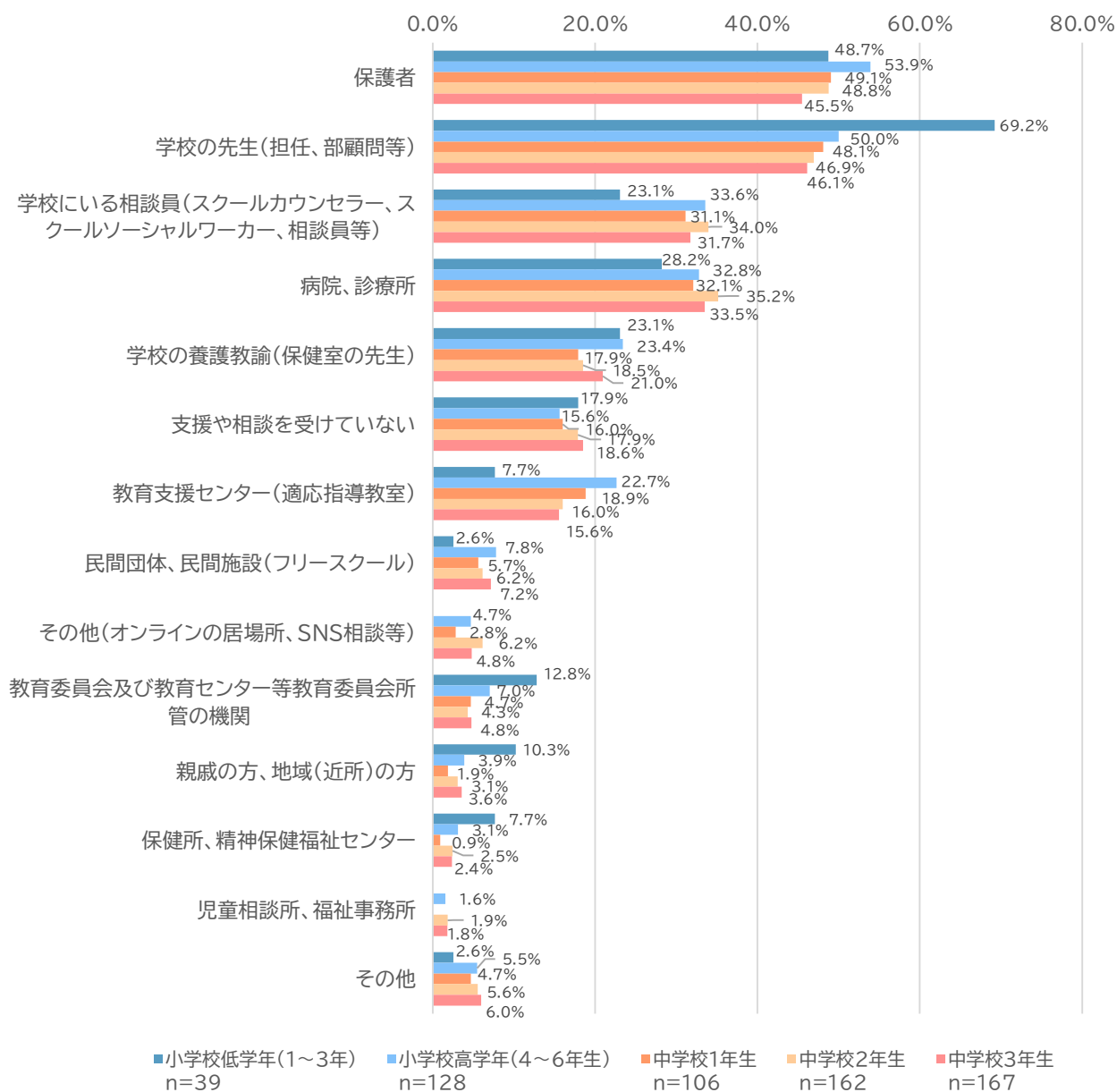


■ 小学校低学年(1～3年) n=39 ■ 小学校高学年(4～6年生) n=128 ■ 中学校1年生 n=106 ■ 中学校2年生 n=162 ■ 中学校3年生 n=167

クロス集計3 不登校の時期×支援及び相談先

□不登校となった際の支援及び相談先については、「学校の先生(担任、部顧問等)」、「保護者」がどの学年でも上位でみられた。特に、小学校低学年(1～3年)では「学校の先生(担任、部顧問等)」の回答が多くみられた。

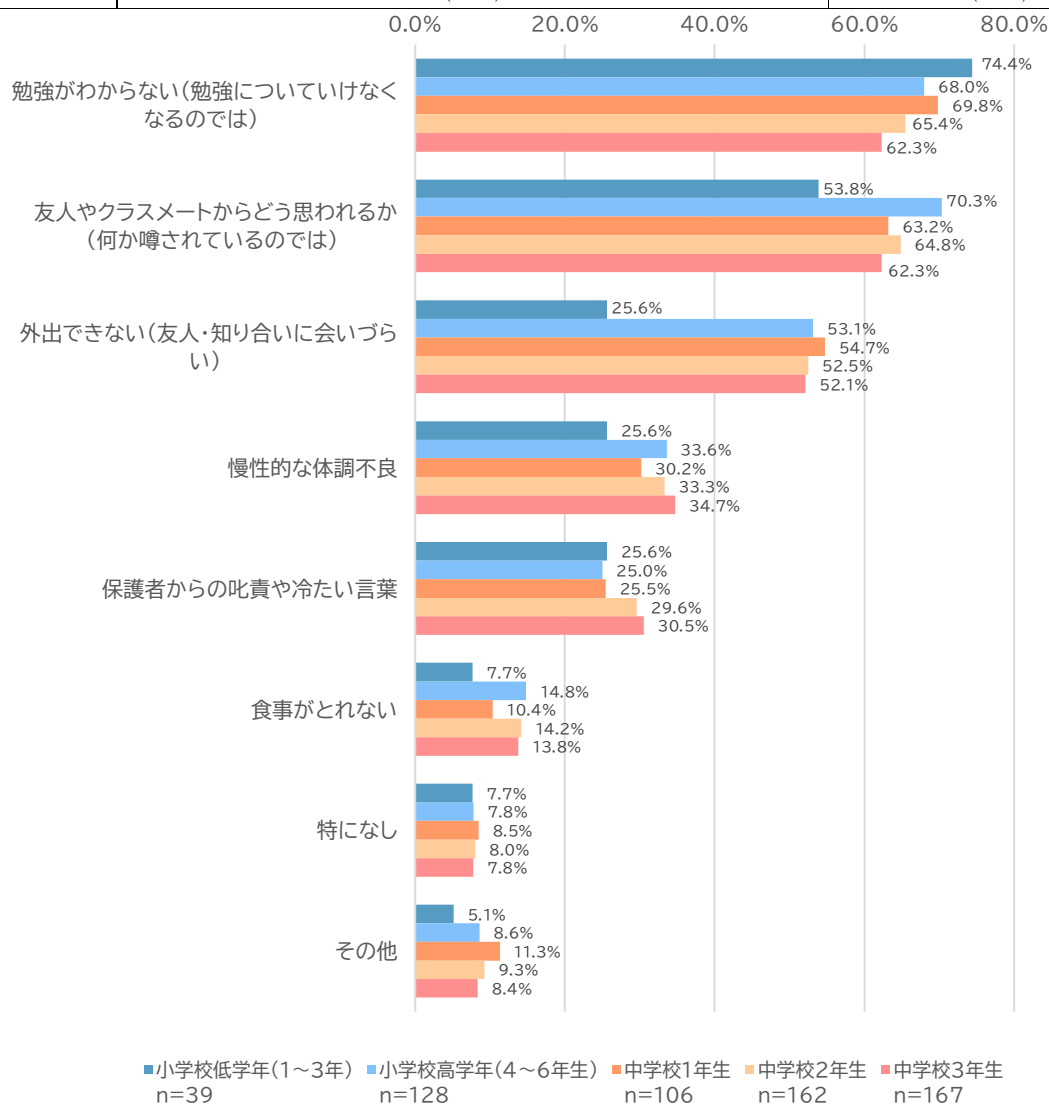
	1	2	3
小学校低学年(1～3年)	学校の先生(担任、部顧問等) (69.2%)	保護者 (48.7%)	病院、診療所 (28.2%)
小学校高学年(4～6年)	保護者 (53.9%)	学校の先生(担任、部顧問等) (50.0%)	学校にいる相談員(スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー、相談員等) (33.6%)
中学校1年生	保護者 (49.1%)	学校の先生(担任、部顧問等) (48.1%)	病院、診療所 (32.1%)
中学校2年生	保護者 (48.8%)	学校の先生(担任、部顧問等) (46.9%)	病院、診療所 (35.2%)
中学校3年生	学校の先生(担任、部顧問等) (46.1%)	保護者 (45.5%)	病院、診療所 (33.5%)



クロス集計4 不登校の時期×不安に思ったり困ったりしていたこと、辛かったこと

□不登校の時に、不安に思ったり困ったりしていたこと、辛かったことについては、「勉強がわからない(勉強についていけなくなるのでは)」「友人やクラスメートからどう思われるか(何か噂されているのでは)」「外出できない(友人・知り合いに会いづらい)」の回答がどの学年でも上位でみられた。不登校時期による順位の違いはみられなかった。

	1	2	3
小学校低学年 (1~3年)	勉強がわからない (勉強についていけなくなるのでは) (74.4%)	友人やクラスメートからどう思われるか (何か噂されているのでは) (53.8%)	外出できない(友人・知り合いに会いづらい) /慢性的な体調不良/保護者からの叱責や冷たい言葉 (25.6%)
小学校高学年 (4~6年)	友人やクラスメートからどう思われるか (何か噂されているのでは) (70.3%)	勉強がわからない (勉強についていけなくなるのでは) (68.0%)	外出できない(友人・知り合いに会いづらい) (53.1%)
中学校1年生	勉強がわからない (勉強についていけなくなるのでは) (69.8%)	友人やクラスメートからどう思われるか (何か噂されているのでは) (63.2%)	外出できない(友人・知り合いに会いづらい) (54.7%)
中学校2年生	勉強がわからない (勉強についていけなくなるのでは) (65.4%)	友人やクラスメートからどう思われるか (何か噂されているのでは) (64.8%)	外出できない(友人・知り合いに会いづらい) (52.5%)
中学校3年生	勉強がわからない(勉強についていけなくなるのでは) /友人やクラスメートからどう思われるか(何か噂されているのでは) (62.3%)		外出できない(友人・知り合いに会いづらい) (52.1%)

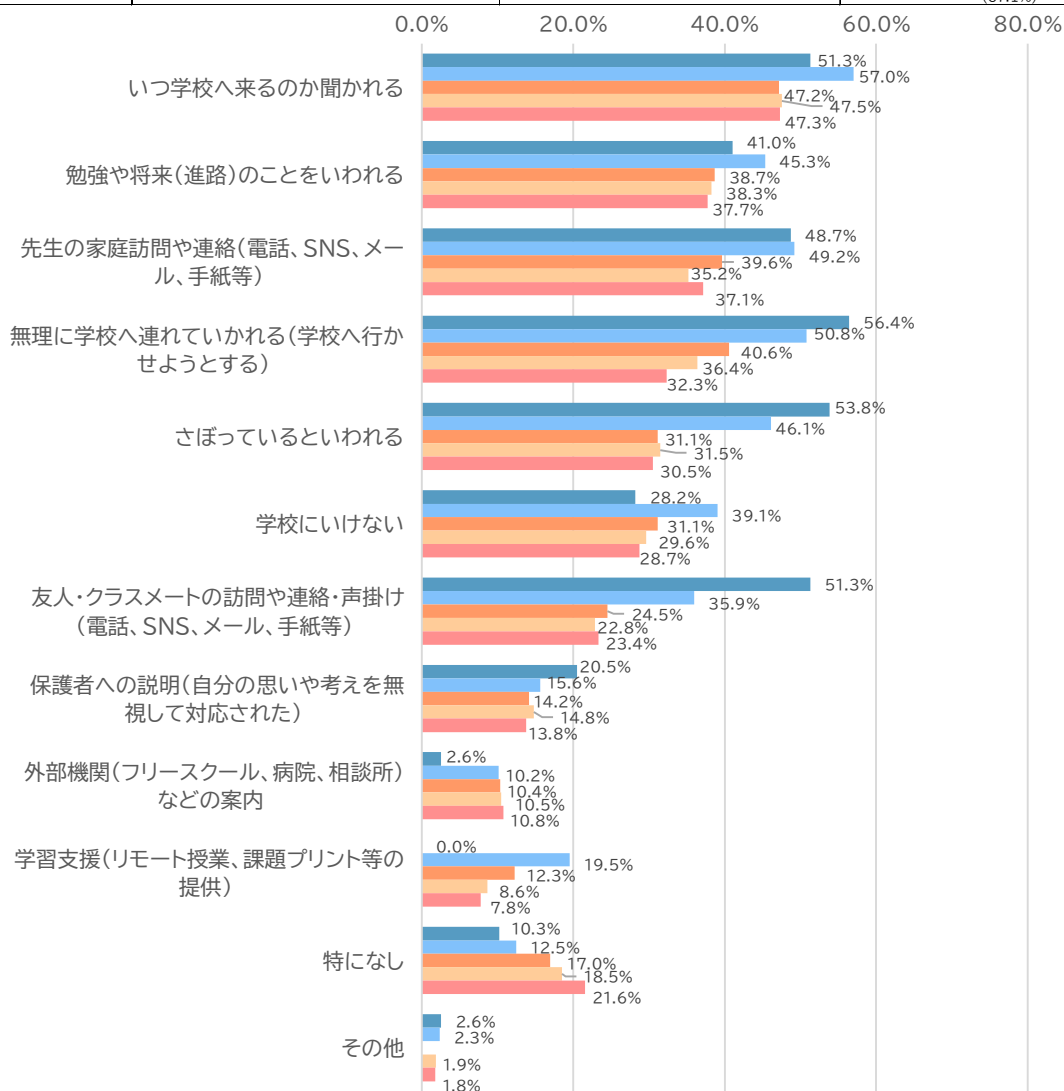


クロス集計5 不登校の時期×学校や先生からの支援・配慮で嫌だったこと

□学校や先生からの支援・配慮で嫌だったことについては、「いつ学校へ来るのか聞かれる」「無理に学校へ連れていかれる(学校へ行かせようとする)」の回答が上位でみられた。

また、中学校では、「勉強や将来(進路)のことをいわれる」の回答が多くみられた。

	1	2	3
小学校低学年(1~3年)	無理に学校へ連れていかれる (学校へ行かせようとする) (56.4%)	さぼっているといわれる (53.8%)	いつ学校へ来るのか聞かれる/友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け(電話、SNS、メール、手紙等) (51.3%)
小学校高学年(4~6年)	いつ学校へ来るのか聞かれる (57.0%)	無理に学校へ連れていかれる (学校へ行かせようとする) (50.8%)	先生の家庭訪問や連絡 (電話、SNS、メール、手紙等) (49.2%)
中学校1年生	いつ学校へ来るのか聞かれる (47.2%)	無理に学校へ連れていかれる (学校へ行かせようとする) (40.6%)	先生の家庭訪問や連絡 (電話、SNS、メール、手紙等) (39.6%)
中学校2年生	いつ学校へ来るのか聞かれる (47.5%)	勉強や将来(進路)のことをいわれる (38.3%)	無理に学校へ連れていかれる (学校へ行かせようとする) (36.4%)
中学校3年生	いつ学校へ来るのか聞かれる (47.3%)	勉強や将来(進路)のことをいわれる (37.7%)	先生の家庭訪問や連絡 (電話、SNS、メール、手紙等) (37.1%)

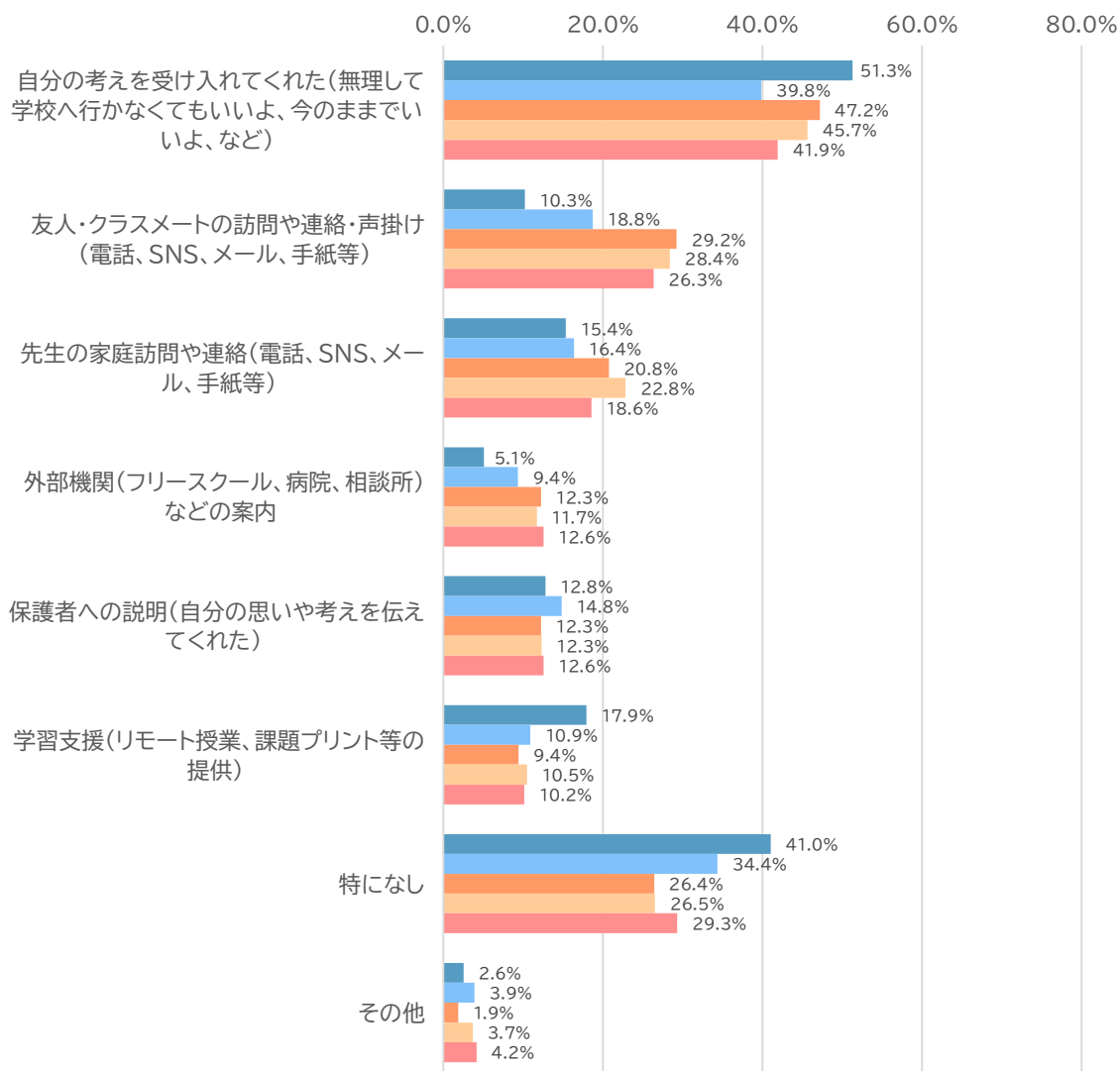


■小学校低学年(1~3年) n=39 ■小学校高学年(4~6年生) n=128 ■中学校1年生 n=106 ■中学校2年生 n=162 ■中学校3年生 n=167

クロス集計6 不登校の時期×学校や先生からの支援・配慮で嬉しかったこと

□学校や先生からの支援・配慮で嬉しかったことについては、「自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など)」「友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け(電話、SNS、メール、手紙等)」の回答が上位でみられた。

	1	2	3
小学校低学年(1~3年)	自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など) (51.3%)	特になし (41.0%)	学習支援 (リモート授業、課題プリント等の提供) (17.9%)
小学校高学年(4~6年)	自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など) (39.8%)	特になし (34.4%)	友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け (電話、SNS、メール、手紙等) (18.8%)
中学校1年生	自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など) (47.2%)	友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け (電話、SNS、メール、手紙等) (29.2%)	特になし (26.4%)
中学校2年生	自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など) (45.7%)	友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け (電話、SNS、メール、手紙等) (28.4%)	特になし (26.5%)
中学校3年生	自分の考えを受け入れてくれた(無理して学校へ行かなくてもいいよ、今のままでいいよ、など) (41.9%)	特になし (29.3%)	友人・クラスメートの訪問や連絡・声掛け (電話、SNS、メール、手紙等) (26.3%)



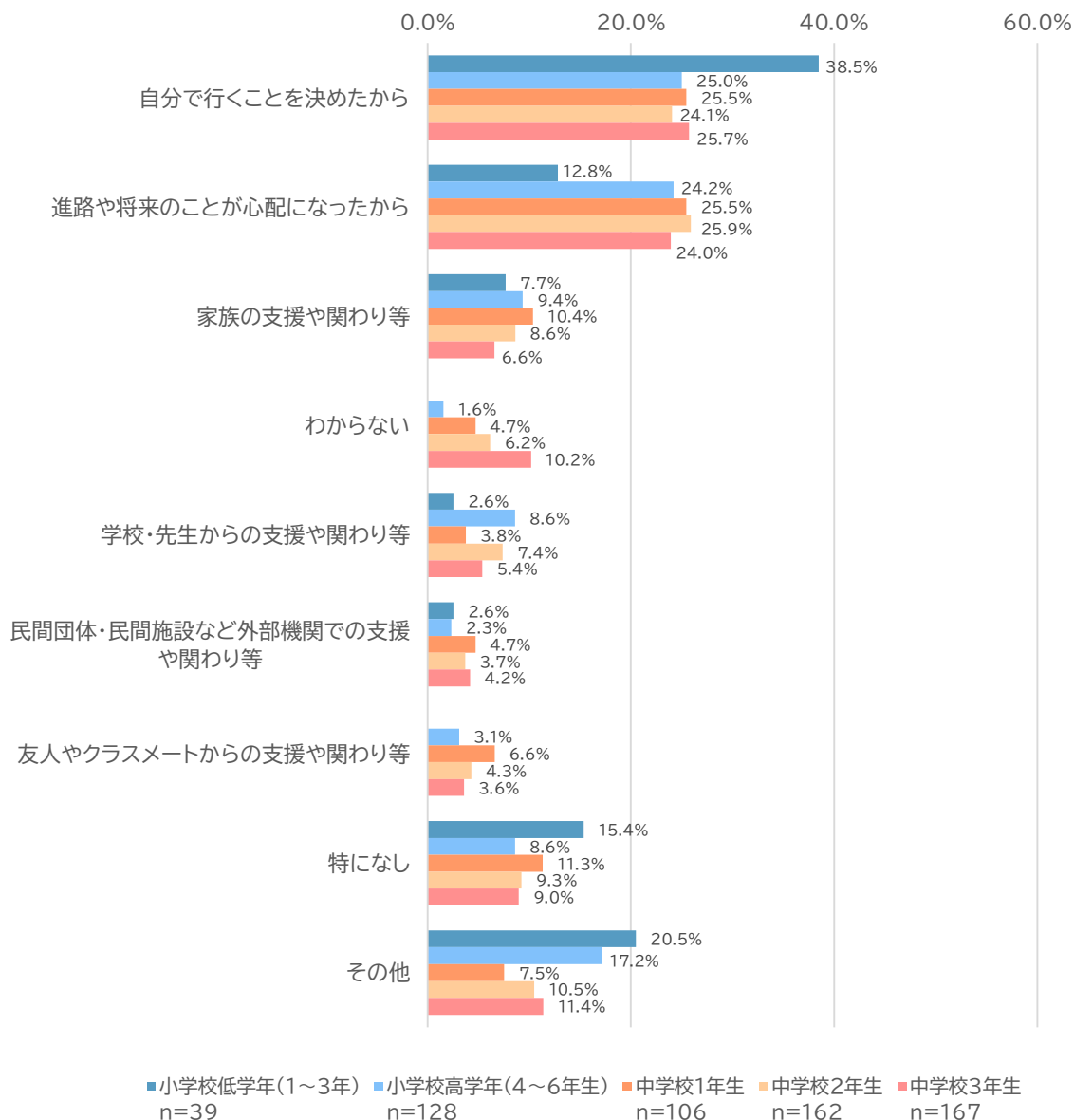
■小学校低学年(1~3年) n=39 ■小学校高学年(4~6年生) n=128 ■中学校1年生 n=106 ■中学校2年生 n=162 ■中学校3年生 n=167

クロス集計7 不登校の時期×学校へ行くことになったきっかけ

□学校へ行くことになったきっかけについては、小学校低学年(1～3年)は「自分で行くことを決めたから」に対して、小学校高学年(4～6年)、中学校(1～3年)では「進路や将来のことが心配になったから」の回答が多く、学年が上がるにつれて上位でみられた。

また、「自分で行くことを決めたから」、「進路や将来のことが心配になったから」といったように、周囲の影響や出来事よりも、自身で決めたといった回答が多くみられた。

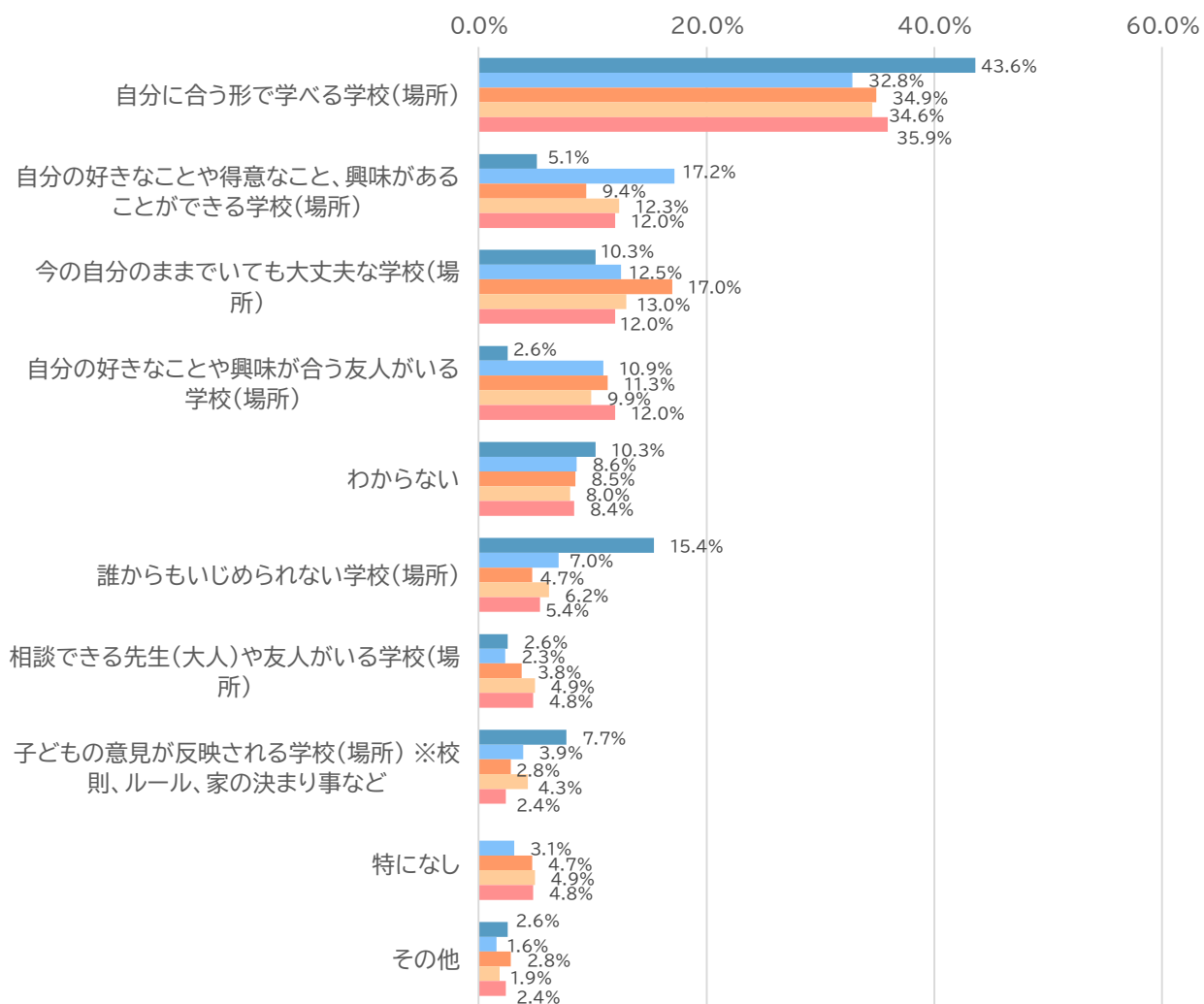
	1	2	3
小学校低学年 (1～3年)	自分で行くことを決めたから (38.5%)	特になし (15.4%)	進路や将来のことが心配になったから (12.8%)
小学校高学年 (4～6年)	自分で行くことを決めたから (25.0%)	進路や将来のことが心配になったから (24.2%)	家族の支援や関わり等 (9.4%)
中学校1年生	自分で行くことを決めたから/進路や将来のことが心配になったから (25.5%)		特になし (11.3%)
中学校2年生	進路や将来のことが心配になったから (25.9%)	自分で行くことを決めたから (24.1%)	特になし (9.3%)
中学校3年生	自分で行くことを決めたから (25.7%)	進路や将来のことが心配になったから (24.0%)	わからない (10.2%)



クロス集計8 不登校の時期×「学びたいと思える場所」「理想の学校」

□「学びたいと思える場所」「理想の学校」については、「自分に合う形で学べる学校(場所)」「今の自分のままでも大丈夫な学校(場所)」が上位でみられた。また、小学校低学年(1～3年)では、「誰からもいじめられない学校(場所)」の回答も多くみられた。

	1	2	3
小学校低学年 (1～3年)	自分に合う形で学べる学校 (場所) (43.6%)	誰からもいじめられない学校 (場所) (15.4%)	今の自分のままでも大丈夫な学校 (場所) / わからない (10.3%)
小学校高学年 (4～6年)	自分に合う形で学べる学校 (場所) (32.8%)	自分の好きなことや得意なこと、興味がある ことができる学校 (場所) (17.2%)	今の自分のままでも大丈夫な学校 (場所) (12.5%)
中学校1年生	自分に合う形で学べる学校 (場所) (34.9%)	今の自分のままでも大丈夫な学校 (場所) (17.0%)	自分の好きなことや興味合う友人がいる学校 (場所) (11.3%)
中学校2年生	自分に合う形で学べる学校 (場所) (34.6%)	今の自分のままでも大丈夫な学校 (場所) (13.0%)	自分の好きなことや得意なこと、興味がある ことができる学校 (場所) (12.3%)
中学校3年生	自分に合う形で学べる学校 (場所) (35.9%)	自分の好きなことや得意なこと、興味があることができる学校 (場所) / 今の自分のままでも大丈夫な学校 (場所) / 自分の好きなことや興味合う友人がいる学校 (場所) (12.0%)	



■ 小学校低学年(1～3年) n=39 ■ 小学校高学年(4～6年生) n=128 ■ 中学校1年生 n=106 ■ 中学校2年生 n=162 ■ 中学校3年生 n=167

クロス集計9 不登校の時期×今の生活の満足度

□今の生活の満足度については、どの学年でも半数以上で「(十分)満足している」と回答がみられた。
また、不登校の時期が中学校に比べて小学校の方が「(十分)満足している」割合が高くみられた。

